

みずほCustomer Desk Report 2017/01/23号(As of 2017/01/20)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	115.16 AUD/USD
TKY 9:00AM	114.94	1.0659	122.54	1.0064	1.2332	0.7565
SYD-NY High	115.38	1.0710	122.94	1.0094	1.2381	0.7589
SYD-NY Low	114.21	1.0625	122.29	1.0015	1.2262	0.7518
NY 5:00 PM	114.65	1.0704	122.45	1.0021	1.2375	0.7560
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	12.03/12.46		Δ25RR	0.570	Yen Call Over	
NY DOW	19,827.25	94.85	債券市場			
NASDAQ	5,555.33	15.25	日本2年債	-0.2320	0.4bp	
S&P	2,271.31	7.62	日本10年債	0.0660	▲1.1bp	
日経平均	19,137.91	65.66	米国2年債	1.1885	▲3.3bp	
TOPIX	1,533.46	5.31	米国5年債	1.9365	▲2.7bp	
ソコ日経先物	19,185	80.00	米国10年債	2.4668	▲0.7bp	
ロンドンFT	7,198.44	▲10.00	独10年債	0.4210	4.2bp	
DAX	11,630.13	33.24	英10年債	1.4310	2.3bp	
ハンセン指数	22,885.91	▲164.05	豪10年債	2.7830	2.4bp	
上海総合	3,123.14	21.84	為替市況	USD/CNH	6.8405	▲0.0059
USDJPY 3M Vol	12.32	▲0.35%	商品市況	ドルインデックス	100.74	▲0.41
USDJPY 6M Vol	12.33	▲0.25%	CRB指数	194.015	1.05	
EURJPY 3M Vol	10.54	▲0.03%	NY金	1,204.90	3.40	
EURJPY 6M Vol	12.11	▲0.04%	WTI	53.22	1.10	
			Dubai Spot	52.15	0.31	

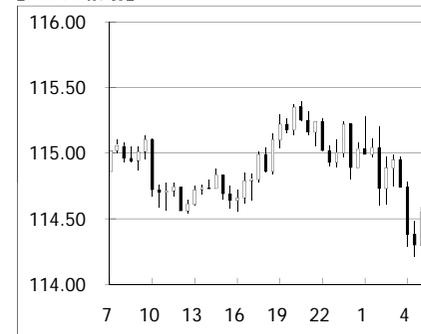
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
1月20日	10:00	米 イエレン・FRB議長 講演	-	-
	11:00	中 GDP(前期比/前年比)	4Q 1.7%/6.8%	1.7%/6.7%
	11:00	中 鉱工業生産(前年比/年初来前年比)	12月 6.0%/6.0%	6.1%/6.0%
	11:00	中 小売売上高(前年比/年初来前年比)	12月 10.9%/10.4%	10.7%/10.4%
	18:30	英 小売売上高(除自動車燃料、前月比/前年比)	12月 -2.0%/4.9%	-0.4%/7.5%
	18:30	英 小売売上高(含自動車燃料、前月比/前年比)	12月 -1.9%/4.3%	-0.1%/7.2%
	22:30	加 CPI(前月比/前年比)	12月 -0.2%/1.5%	0.0%/1.7%
1月21日	1:30	米 トランプ大統領 就任式	-	-

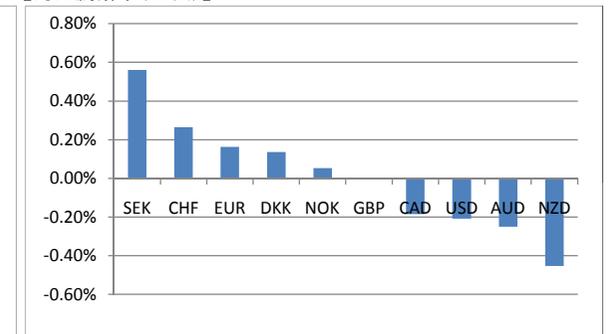
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
1月24日	0:00	欧 消費者信頼感指数・速報値	1月 -4.8	-5.1

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	113.50-115.00	1.0650-1.0750	121.50-123.00

【マーケット・インプレッション】

昨日の海外市場ドル円相場は上昇後、下落する往々来いの展開。欧州時間は米長期金利上昇を背景にドル買いが強まると、ドル円は114円台後半から115.38円まで上昇。トランプ米大統領就任式の演説内容については特段目新しい材料が見当たらないものの、米株がやや荒い値動きとなるとドル円は軟化し114円台後半に押し戻された。その後は米長期金利が低下したことや、ホワイトハウスのウェブサイト上にてTPPからの撤退戦略やNAFTA再交渉が発表され米国の通商政策に対する懸念からドル円は続落し、前日安値114.40円付近にあったストップロスを巻き込み114.21円まで下落。売り一巡後は週末を控えてやや値を戻し、114円台半ばでクローズした。本日のドル円相場は、方向感に欠ける展開を予想。昨年11月のトランプ大統領当選からの期待感先行のトランプトレードは昨日の大統領就任式にて一旦は収束した格好。足元はドル高がやや調整されたものの、更なるドル売り材料は見当たらない。一方で、実現性が不明瞭な米国の減税・財政政策を背景にドル買いに向かうには時期尚早と考えられ、どちらにもポジションを傾けづらい地合となりそうだ。

東京	東京時間のドル円は114.94レベルでオープン。オープン後、一時115円台に乗せる場面が見られたものの、イエレンFRB議長より「徐々に利上げを進めていくのが賢明」などのコメントが伝わり、先日の講演内容をほぼ踏襲する発言で特段目新しさがなかったことから、米金利低下・ドル売り優勢の流れ。ドル円は114.60近辺まで値を下げた。その後、中国10-12月期GDPや中国12月鉱工業生産等、複数の中国経済指標が発表されたが、ほぼ事前予想通りの結果にマーケットの反応は限定的であった。海外時間にトランプ米大統領就任式を控えていることから、午後に入っても動意に乏しい推移が続き、114.69レベルで海外市場に渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場ドル円はしっかり推移した。114.69レベルでオープン。米長期金利や原油の上昇を背景に115.38まで上昇。しかし、その後はトランプ米大統領就任式を控え様子見ムードとなり、115.25レベルにてニューヨークへ渡った。ロンドンドルは下落する展開。1.2362レベルでオープン。英12月小売売上高は前月比-1.9%(予想-0.1%)と市場予想を大きく下回る結果に、今後の英国景気に対する懸念の高まりを背景に一時1.2262まで売られ、1.2280レベルにてニューヨークへ渡った。(ロンドン17:00)
ニューヨーク	米長期金利の上昇を受けて海外時間に高値115.38を付け、ドル円は115.25レベルでNYオープン。トランプ氏の大統領就任演説では想定範囲内の国民に向けての愛国主義の発言にとどまり、注目されていた減税の話も無かったことから市場への影響は限定的となった。しかし、イベント期待感への落胆から利益確定の売りが出てきたことや、その後行われたトランプ大統領のハレド中に反対デモが大勢集まり、発煙弾などを投げつける人も出てきたことから、同氏の安全面などについての懸念が高まり、リスク回避の動きからドル円は下落。米長期金利が低下したことも重石となり、ドル円は114.40付近のストップを巻き込み安値114.21まで下落した。同水準では下げ渋ったが、TPP離脱方針やNAFTA再交渉をホワイトハウスのホームページに正式に打ち出したこともあり、今後の通商政策に対する懸念から上値重く推移し、114.65レベルでクローズした。一方、ユーロドルは1.0628レベルでオープン。米長期金利の低下を受けてドル売りが強まり、一時1.0710まで上昇し、1.0704レベルで海外市場へ渡った。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。